

奈良法学会雑誌

第7巻 第3・4号

1994年度

境 一郎教授

筒井信定教授 退職記念号

村田治美教授

論 説

- | | |
|---|-------|
| 維新時における東京の非人
——旧非人制度の終末—— | 牧 英正 |
| ナチスとユダヤ人 | 上山 安敏 |
| 遺言者生存中の遺言無効確認の訴え | 中野貞一郎 |
| 1930年代ハンガリーにおける
急進 = 権威主義政権
——その登場と挫折—— | 中村 幹雄 |
| 荷送人の運送品処分権と荷受人の
権利 | 保久 行弘 |
| 接見制限と供述の証拠能力
——1992年10月29日ドイツ連邦裁判所
判決を中心に—— | 山名 京子 |
| 「アウシュヴィッツの嘘」とドイツ司法
——デッケルト事件判決について—— | 川口 浩一 |
| 「市民法の科学化」論と神官クィーントゥス・
ムーキウス・スカエウォラの思想像
——アルド・スキアヴォーネの議論を
手がかりに—— | 林 智良 |
| 公的扶助行政の法的統制の理論 (≡)
——ドイツ社会扶助法を手がかりとして—— | 前田 雅子 |
-

奈良産業大学法学会

目次

巻頭のことば

論説

維新時における東京の非人

——旧非人制度の終末——

ナチスとユダヤ人

遺言者生存中の遺言無効確認の訴え

一九三〇年代ハンガリーにおける急進的権威主義政権

——その登場と挫折——

荷送人の運送品処分権と荷受人の権利

接見制限と供述の証拠能力

——一九九二年一〇月二九日ドイツ連邦裁判所判決を中心に——

「アウシュヴィッツの嘘」とドイツ司法

——デッケルト事件判決について——

「市民法の科学化」論と神官クイーントウス・ムーキウス・

スカエウオラの思想像

——アルド・スカエヴォーネの議論を手がかりに——

公的扶助行政の法的統制の理論(二)

——ドイツ社会扶助法を手がかりとして——

境一郎・筒井信定・村田治美各教授略歴・主要著作目録

柳原太郎

牧英正(一)

上山安敏(三)

中野貞一郎(五)

中村幹雄(充)

保久行弘(二九)

山名京子(三三)

川口浩一(三五)

林智良(三三)

前田雅子(三二)

奈良産業大学法学会評議員

會長 柳原太郎

會計委員

辻博明

境新一郎

遠田新一

福島德壽郎

會計監査委員

編集委員

筒井信定

牧英正

村田治美

上山安敏

米山隆

森井英雄

桐村彰郎

保久行弘

平尾透

清都千春

山本隆司

森本哲郎

發行所 奈良産業大学法学会

〒六三六 奈良県生駒郡三郷町

立野北三丁目二二一

TEL (〇七四五) 七三七八〇〇

印刷所 株式会社 天理時報社

〒六三二 天理市稲葉町八〇番地

TEL (〇七四三) 四一四一一

奈良法学会雑誌(年四回刊行)

第七卷 第三・四号

一九九五年三月一日発行

NARA HOGAKKAI ZASSHI

Nara Law Review

(Quarterly)

Vol. 7 No. 3 • 4 Mar. 1995

CONTENTS

Articles

- On the End of *Hinin* (非人)Hidemasa Maki
Nationalsozialismus und JudenYasutoshi Ueyama
Die Klage auf Feststellung der Unwirksamkeit
des Testaments eines noch Lebenden.....Teichiro Nakano
The Radical-Authoritarian Government of Hungary
in the 1930s: Its Advent and BreakdownMikio Nakamura
Das Verfügungsrecht des Absenders
und die EmpfängerrechteYukihiro Yasuhisa
Die Verwertbarkeit von Äußerungen
bei der Beschränkung des Konsultationsrechts
.....Kyōko Yamana
Auschwitzlüge in den Rechtsprechungen
.....Hirokazu Kawaguchi
The Scientific Revolution of the *ius civile* and the Thought
of Quintus Mucius Scaevola Pontifex
——the Location of the Theory of Aldo Schiavone——
.....Tomoyoshi Hayashi
Existenzminimum und gerichtliche
Kontrolle der Regelsätze (3)Masako Maeda
-

Published by
The Nara Law Association

NARA JAPAN